

事業所名

ウィズ・ユース

支援プログラム

作成日

令和

6年

12月

28日

法人（事業所）理念		●一人ひとりの発達に合った支援内容を考え、自立を目指し、地域社会で実りある社会生活を実現を目指します。			
支援方針		●社会の中で自分らしく生き抜くために、自信を持ち自立の形成を育めるよう成長を総合的にサポートします。			
営業時間		9時00分	から	18時00分	まで
		送迎実施の有無		あり	なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	●基本的な生活習慣・食生活・自分の体・健康について学習や遊び体験を通じて支援します。 ●日々の安全意識・交通安全や防災スケジュール管理の重要性、身だしなみや食事マナーなど生活上のスキルを習慣化し自立した生活ができるようにサポートします。			
	運動・感覚	●怪我無く過ごすための姿勢・体幹・柔軟性を養うストレッチや体操、ボールを使った運動プログラム、施設内や公園での遊び等、日々の活動の中でバランスよく取り入れ健康な体づくりをサポートします。縄跳びなど回数の目標設定をしたりやり遂げることで達成感を感じながら身体・精神・社会的な向上を図ります。 ●自然と触れ合い（散歩やスタンプラリー）、楽しみながら体力と自尊心を養います。			
	認知・行動	●課題提供・宿題サポートで学習に対する気持ちづくりをし、基礎的な学習スキル・あきらめない力・続ける力・周りと一緒に課題に取り組む力を育みます。 ●おやつ時・施設内買い物体験を通じて、繰り返し体験し数量の概念や、計算する力を習得できるように支援します。			
	言語コミュニケーション	●生活の中で相手の気持ちや行動を理解したり、自分の考えや思いを伝えることが出来るように、必要に応じた教材を用いたり・他の人と関わる楽しさを経験し実践的なコミュニケーションを図ります。			
	人間関係 社会性	●個別に日常生活での困りごとや、人間関係、自分で解決出来なかったことを振り返りSSTを行います。 ●地域の方との交流、公共の場でのルール、過ごし方など身に付けていきます。			
家族支援	●日々の困りごと（家族・兄弟を含む）の相談や、成長に伴う事例の共有、支援の方法など家庭と連携し、情報を共有しながら総合的な支援を行います。 ●その日取り組んだ内容を保護者に伝え、気になることがあれば報告し、家庭との共有を図ります。 ●事業所のオフィシャルLINEを通じて、緊急時の対応や家庭との連絡をスムーズにとることが出来る体制を整えて少しでもご家庭での困りごとに迅速に対応できるようにしています。	移行支援	●具体的な本人の意向、保護者の意向確認や情報共有を行います。 ●進学先、就職先との情報の共有。 ●学校、福祉サービス等と連携を図り、支援体制を構築します。 ●進学、就労、環境の変化に向けて課題提供および実践。		
地域支援・地域連携	●年2回の地域の公民館避難場所確認、長期休みを利用して姫路市内の公共施設での地域の方との交流、職場探検、ふれあいの機会を提供します。 ●校区内こども110番の家。 ●校区内中学校トライやるウィーク受け入れ事業所。	職員の質の向上	●採用時研修（採用時1か月以内に実施） ●経験や職種に応じた研修の参加を促し、スキルアップの機会を促す。 ●職員の専門性を高めることのベースとして必要な「人間性」常に寛容な目で見守ることを共通認識のもと支援体制を整えます。		
主な行事等	●各季節のイベント行事。 ●社会体験活動（長期休み時） ●地産地消、郷土料理を知り食文化を大切に継承する取り組み（見学体験・交流・つくる）				